

会 議 録

会 議 の 名 称	朝霞市まち・ひと・しごと創生本部会議（令和元年度第2回）	
開 催 日 時	令和2年1月14日（火） 午前10時30分～午前10時40分	
開 催 場 所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出 席 者	富岡市長、關野副市長、三好教育長、神田市長公室長、 村山危機管理監、上野総務部長、宮村市民環境部長、 三田福祉部長、麦田こども・健康部長、小酒井都市建設部長、 田中会計管理者、木村上下水道部長、木村議会事務局長、 二見学校教育部長、比留間生涯学習部長、渡辺監査委員事務局長 （事務局） 永里政策企画課長、新井同課長補佐、 櫻井同課専門員兼政策企画係長、松尾同課同係主査、 江原同課同係主事	
会 議 内 容	議題（1）朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について	
会 議 資 料	【資料1】国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 【資料2】第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案） 【資料3】国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要 【資料4】朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂方針 【資料5】朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版（案）	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

（事務局 櫻井政策企画課専門員兼政策企画係長）

定刻となりましたので、朝霞市まち・ひと・しごと創生本部会議を開始します。

はじめに、資料の確認をお願いします。

本日の資料は、

【資料1】国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

【資料2】第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）

【資料3】国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

【資料4】朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定方針

【資料5】朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定版（案）

の5点でございます。

それでは、議事に入ります。

朝霞市まち・ひと・しごと創生本部要綱第5条の規定により、議長は、本部長があたることとなっておりますので、市長に進行をお願いします。

【議題（1）朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について】

（本部長 富岡市長）

それでは、次第に基づき、会議を進めます。

議題の（1）朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について、事務局に説明を求めます。

（事務局 永里政策企画課長）

本市における今後の総合戦略についてですが、令和元年8月20日に開催した今年度第1回会議において、現行の総合戦略を1年延長すること、続く第2期総合戦略については、総合計画の後期基本計画と期間を合わせ、施策の検討を一体的に行うことを決定しております。

その後の状況ですが、国は令和元年12月20日に第2期総合戦略を閣議決定し、引き続き国を挙げて地方創生に取り組む姿勢を示すとともに、地方公共団体についても切れ目なく地方創生に取り組むことを求めています。

なお、現在、埼玉県も第2期総合戦略を作成中であり、素案についてのパブリック・コメントが実施されております。

本日の資料としては、国の第2期総合戦略と埼玉県の第2期総合戦略（素案）を資料1、資料2としてお配りしておりますが、資料3に概要をまとめましたので、まず資料3を基

に説明させていただきます。

「1 主旨」ですが、「継続は力なり」という姿勢を基本にし、地方創生の目指すべき将来や、今後5か年の目標や施策の方向性等を策定するものです。

「2 地方創生の目指すべき将来」ですが、将来にわたって「活力ある地域社会」を実現するということと、「東京圏への一極集中」の是正という2つです。

「3 第2期「総合戦略」における基本目標」ですが、政策体系が一部見直され、(1)のとおり4つの基本目標と2つの横断的な目標のもとに取り組むこととされています。

(2)見直しの主な内容ですが、ア 横断的な目標の追加として、①多様な人材の活躍を推進すること、②新しい時代の流れを力にすることが追加されています。

また、イ 基本目標の見直しですが、①基本目標2に「地方とのつながりを築く」観点が追加されているほか、②基本目標1、4に「ひとが集う、魅力を育む」観点が追加されています。

「4 県の第2期総合戦略策定の考え方」ですが、(1)現在の県の総合戦略を基本的に踏襲すること、(2)基本指標及びKPIは原則として継続すること、(3)国の第2期総合戦略等を勘案した取組を一部追加することとなっております。

※の「県の第2期総合戦略(素案)における主な見直し内容」ですが、①まち・ひと・しごと創生に向けた考え方に「新しい時代の流れへの対応」が追加されていますが、②4つの基本目標に変更はなく、全体的に第1期を踏襲した構成となっております。

次に、国及び県の第2期総合戦略を踏まえ、事務局において改訂方針をまとめましたので、資料4をご覧ください。

「1 改訂の趣旨」については、総合計画との整合・連携を図るため、現行の総合戦略を1年延長する改訂を行うこととします。

「2 改訂にあたっての基本的な考え方」ですが、(1)終了年度を令和2年度とし、(2)現行の総合戦略を原則踏襲するとともに、(3)基本目標の数値指標等については、終了年度である令和2年度における目標値を設定します。また、(4)国及び県の第2期総合戦略も勘案し、(5)改訂作業については、朝霞市まち・ひと・しごと創生本部及びその下部組織である推進部会において行うこととします。

「3 改訂に当たっての留意点」としましては、(1)地域間の連携・協働の促進、(2)多様な主体の参画の推進、(3)切れ目なく取り組むことです。

この改訂方針を踏まえ、事務局において総合戦略改訂版のたたき台案を作成しております。

資料5の目次をご覧ください。

冊子内で修正した部分は下線を引いてあります。

主には、先ほどの改訂方針にもありました「改訂にあたっての基本的な考え方」を1-5に追加したほか、4で、人口動態等の改訂時の状況を追加しています。

35ページをご覧ください。

「4-8. 将来人口の展望」ですが、グラフを見ていただくと、平成27年のところから、黒い三角の印が上に伸びているかと思えます。これが実績値ですが、策定当初の試算を上回る状況を示しています。

続く36ページからは朝霞市の総合戦略における4つの基本目標をまとめています。

ここからは改訂作業の具体的なイメージになるかと思えますが、39ページをご覧ください。

基本目標1の「産業の活性化と働きやすい環境づくり」について、下の表で2つの数値目標を設定しておりますが、策定当初の現状値と目標値に加え、右端の部分に改訂時点での現状値と目標値について、事務局案を理由とともに記載しています。

続いて、40ページをご覧ください。

基本目標の下には(1)のようにさらに具体的な施策を掲げており、KPIが設定されておりますので、改訂時点での現状値と目標値を設定する必要があります。令和2年度の目標値につきましては空欄にしてありますので、施策担当課に記入していただきたいと考えております。

また、各施策の内容につきましても、国及び県の第2期総合戦略における新たな視点を踏まえ、必要なものについては修正等を行っていただくほか、目標達成のために必要となる施策の追加・削除があればお願いしたいと考えております。

その他、事務局にて主な取組の時点修正や、国の第2期総合戦略の新たな視点を踏まえた取組案を挿入してある部分もありますので、改訂作業の参考にしていただくことを考えております。

最後に今後の予定でございますが、1月16日に政策推進部会を開催し、事務局から施策担当各課に改訂作業への御協力を依頼させていただきたいと思えます。

とりまとめた改訂版の案については、2月中旬に総合戦略の審議会を開催し、ご意見をいただく予定です。

その後、審議会での意見を反映させた修正案を基に、改めてこちらの創生本部(第3回)を開催させていただき、年度内に改訂を完了したいと考えております。

事務局からの説明は以上です。

(本部長 富岡市長)

説明が終わりましたが、何か質問等ありますか。

特に無ければ、国及び県の第2期総合戦略を踏まえて改訂作業に取り組むこととし、具体的な改訂案の作成作業については、今後、部会を中心に取り組んでいくこととしてよろしいでしょうか。

(本部長)

－異議なし－

(本部長 富岡市長)

それでは、そのように決定します。

その他、事務局から何かありますか。

特になければ、これで本部会議を終了します。

【閉会】